

# 万博計画具体化検討ワーキンググループについて

経 済 産 業 省  
平成31年2月18日

## 1. 趣旨

- 2018年11月に日本での開催が決定した2025年国際博覧会について、2017年9月にビッド・ドシエ（立候補申請文書）を提出し、日本として提案する開催計画をBIE（博覧会国際事務局）に提出した。日本での開催が決定したことを受け、開催計画を改めて準備及び運営の観点から、より具体的に検討していくことが必須である。また、2020年5月までにBIEに対して、登録申請書を提出することが求められるため、その検討結果を登録申請書の作成に活用していくことも重要である。
- 上記の必要性を鑑み、大阪・関西万博具体化検討会の下に、有識者（別紙）から構成される万博計画具体化検討ワーキンググループ（以下「万博計画具体化検討WG」という）を設置し、テーマの深掘りや会場計画等の開催計画について検討を行う。

## 2. 議事及び資料の取り扱いについて

- 本WGについては、議事を公開する。また、議事概要を作成し、資料とともに公表する。
- ただし、WG委員の判断で特に必要と認めるときは、議事を非公開とすることができる。また、議事概要及び資料の全部又は一部を公表しないものとするすることができる。

## 3. 事務について

- 本WGの事務は、2025年日本国際博覧会協会等の協力を得て、経済産業省 クールジャパン政策課 博覧会推進室で行う。

(別紙)

## 万博計画具体化検討ワーキンググループ 委員名簿

(五十音順、敬称略)

石川 善樹 株式会社ハビテック 研究所長

齋藤 精一 株式会社ライゾマティクス 代表取締役

佐野 真由子 京都大学大学院教育学研究科 教授

澤田 裕二 UG WORK 合同会社 代表

豊田 啓介 noiz パートナー

西口 尚宏 Japan Innovation Network 専務理事

橋爪 紳也 大阪府立大学 研究推進機構特別教授